

(別紙4(2))

事業所名 アメニティホーム塩釜

目標達成計画

作成日: 平成 30年 11月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	現状今までも虐待防止について徹底はしており問題はないが、最近世間で問題視されているので今後もしっかりと努めていかなければならない	職員一人一人がしっかりと学び虐待ゼロを継続していく	定期的に研修等行い、知識を得て日々の介護に生かす 管理者は常に現場や職員と近い距離にいて穏やかな職場環境を作っていく	随時
2	5	いきいき支援センターの職員とは連携が取れてきているが区役所や町内の担当の方と交流がない	運営推進会議や施設でのイベントに参加してもらい交流の機会を設ける	FAX等で案内は送っているが、役所や地域のイベントに出向き自らアプローチしていくように心がける	12ヶ月
3	13	研修等を受ける環境や機会は確保され勧められてはいるが社内研修は毎月行うものの社外研修への参加が少ない	毎月順番に名古屋市のキャリアアップ研修などに参加推進する	研修の案内が届いたら速やかに職員に伝え予定表を作り申込みをしていく	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。